

# プロジェクト報告 Project Reports

## 『東日本大震災』被災者支援 #3

2011年6月～

宮城県南部沿岸部、福島県北部沿岸部

震災発生から4カ月が経ちました。5月から順次仮設住宅への入居がはじまり、閉鎖される避難所も増えてきました。物資は充分とは言えませんが、行き渡るようになりました。季節は梅雨、そして暑い夏へと移り変わりはじめたこの時期、福島県ではいまだ原発という深刻な問題を抱えています。放射能レベルの高い地域では、子供達は天気が良くても外で遊ぶこともできず、教室が暑くても窓を開けることもできず、外に出るときはマスク着用で毎日を過ごしています。現在私達は、現地の情報をくださる方々とともに県市町村とも連絡を取り合いながらニーズを調査し、学校給食センターに食糧支援を行ったり、学校の各教室へ空気清浄機を企業から寄贈していただいたり、放射能測定器を購入して自治体で貸出しができるようにしたりといった活動を行っています。また、相馬双葉漁協からの依頼により、津波ですべて流されてしまった漁港の事務所の建設費用を、アメリカの“The Japanese Disaster Relief Fund-Boston”よりいただいた寄付金により提供させていただき、先日無事に事務所が完成致しました。漁の再開は8月頃になるようですが、漁港の市場もきれいになり、着々と漁の再開に向けての準備が進んでいます。

時を経て、支援の形も変わりつつあります。お金を配るだけ、物を配るだけの支援では、すべてを失った方々が本当の意味で前を向いて一步を踏み出すことはできません。私達はその先のビジョンを描きながら、未曾有の震災を経てなお生かされた命を守り抜く為の支援を続けて参ります。



**福島県相馬双葉漁協の漁業再開支援。  
復興への第一歩。**



出来上がったばかりの事務所

by “The Japanese Disaster Relief Fund-Boston”

## ～福島の子供たち～



給食のおかずが増えたよ！



ジュースをたくさんもらいました！



教室に空気清浄機が入りました！



©2011 ICA JAPAN

支援活動にご協力いただきましたたくさんの企業のみなさま、  
**本当にありがとうございました。**